

## 1. はじめに

毎年4月2日は、国連総会が定めた世界自閉症啓発デーです。世界中の多くの国において自閉症を理解してもらう取組が行われています。国立特別支援教育総合研究所は、自閉症をはじめとする発達障害に関係する団体とともに世界自閉症啓発デー・日本実行委員会を組織し、発達障害について、広く理解啓発する活動を行っています。

毎年、世界自閉症啓発デーの4月2日から8日を発達障害啓発週間として、シンポジウムの開催や東京タワーなどのランドマークのブルーライトアップ等の活動を行っています。

ここでは2022年の世界自閉症啓発デーに関するイベントと日本実行委員会の活動について紹介します。2022年は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、集合型のイベントは中止とし、公式HPから動画配信の形式で開催しました。

## 2. 「世界自閉症啓発デーONLINE2022—輝く人・照らす人—」イベント

世界自閉症啓発デー・日本実行委員会公式HP (<http://www.worldautismawarenessday.jp/htdocs/>)



### (1) 動画コンテンツの配信

#### ① ジュリアのヘアカット

セサミストリートには様々なキャラクターの仲間たちが登場しますが、その中に自閉症の特性があるジュリアというキャラクターがいます。

日本実行委員会では、セサミワークショップの協力を得てポスターやイベントにジュリアとその仲間たちに登場してもらっています。

今回の動画は「ジュリアのヘアカット」です。セサミストリートの仲間たちが、美容院ごっこをして美容師になり、自閉症の特性のためヘアカットに恐怖を感じるジュリアの恐怖を和らげる手助けをするお話です。



世界自閉症啓発デーポスター

#### ② 発達障害のある当事者からのメッセージ

自閉症など発達障害のある小学生や大学生、成人の当事者の方々が動画に登場します。歌やダンス、ピアノ演奏、制作した作品、仕事の様子などが紹介されています。インタビューでは自己紹介のほか社会に対して訴えたいメッセージなどが語られています。

この動画は YouTube から配信されています。

## (2) 東京タワーブルーライトアップ・啓発イベント

4月2日の世界自閉症啓発デーの当日には、日本実行委員会の関係者、国会議員、セサミストリートのキャラクターたちにより、東京タワーのブルーライトアップ点灯式が行われました。関係団体による世界自閉症啓発デー応援メッセージも動画配信されました。この様子は、公式 HP からライブ配信するとともに、YouTube でも録画配信しています。



東京タワーブルーライトアップ

## 3. 世界自閉症啓発デー・日本実行委員会の活動

### (1) 国連事務総長と大臣からのメッセージ

世界自閉症啓発デーに寄せて、国連事務総長、厚生労働大臣、文部科学大臣からのメッセージをお願いしています。2022年は、国連事務総長アントニオ・グテーレス氏、厚生労働大臣後藤茂之氏、文部科学大臣末松信介氏からのメッセージをいただき公式 HP に掲載しています。

### (2) 応援メッセージ

自閉症や発達障害のある方とその家族への応援メッセージを投稿していただいています。2022年は、大臣や国会議員、スポーツ選手、アナウンサーなど著名人の方々からメッセージが寄せられています。また、全国各地からも保護者や支援者の方々から応援メッセージが寄せられています。応援メッセージはいつでも投稿することができます。

### (3) 自閉症・発達障害のある方の作品展

毎年、世界自閉症啓発デーの時期に合わせて、自閉症など発達障害のある方の作品展を企画しています。日本実行委員会の関係団体から作品を募集し、公式 HP から公開しています。2022年は30点の作品を掲載しています。どれも魅力ある作品ばかりです。

### (4) ポスター・リーフレットの作成

世界自閉症啓発デーのポスター及びリーフレットを作成し、自閉症をはじめとする発達障害の方やその家族に対する社会全体の理解が進むよう啓発活動を行っています。いずれも公式 HP からダウンロードできるようになっています。

ポスターやリーフレットにはセサミストリートのジュリアとその仲間たちも登場しています。ジュリアのお願いシートは、自閉症等の当事者の方が「困りごと」や「助けてほしいこと」を自由に書き込み、個人情報を守りながら自分の「困った」を伝えることができるシートです。大人用と子ども用があります。



ジュリアのお願いシート

#### (5) Facebook、Twitter

これまで公式 HP のほか Facebook を活用して日本全国の様々な取組の紹介など啓発活動をしてきました。新たに2022年1月からはTwitterも活用して、自閉症をはじめとする発達障害の理解・啓発や当事者及び支援者など関係者の情報交換に努めています。

#### 4. おわりに

「癒やし」や「希望」などを表すブルーは、自閉症のシンボルカラーとされています。自閉症啓発デーには、世界中でブルーライトアップやブルーのものを身につけるなど、様々な形でブルーが展開されています。日本でもブルーにライトアップされる場所が年々増え、全国200近い施設がブルーに染まります。全国各地で、自治体、団体、企業による自主的に工夫をこらした取り組みも行われています。

#### 【発達障害ナビポータル】

<https://hattatsu.go.jp/>

発達障害ナビポータルは、国立障害者リハビリテーションセンター(発達障害情報・支援センター)と国立特別支援教育総合研究所(発達障害教育推進センター)が共同運営するサイトです。発達障害のある方や支援に携わる方が活用できる情報を、「ご本人・ご家族」、「教育」、「医療・保健」、「福祉」、「労働」及び「研修コンテンツ集」「トピックス」「イベント」などのカテゴリーに分類して発信しています。